

本巣市地域公共交通計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果

- 1 募集期間 令和8年2月24日（火）から令和8年3月25日（水）  
 2 意見提出件数 4件（2名）  
 3 意見の趣旨と市の考え方

番号	該当ページ	ご意見等	市の考え	変更の有無	修正ページ
1	本編 3 本編 14 本編 25	地域公共交通計画は、路線バスを中心に、地域鉄道を含む公共交通ネットワーク計画の実施に向けた計画ですが、鉄道とのネットワーク化の計画について何も触れていません。	地域公共交通計画は、地域にとって望ましい地域旅客サービスの姿を明らかにする地域公共交通のマスタープランであり、本計画では、本編3ページにて、樽見鉄道を基幹公共交通、岐阜バスを幹線及び準幹線公共交通とし、それらまでのアクセスを担う市営バスを地域公共交通としてそれぞれ位置づけ、複数の公共交通の乗り換え拠点であるモレラ岐阜を交通結節点としています。 今後は、本編14ページや本編25ページのとおり、樽見鉄道モレラ岐阜駅や市役所本庁舎を拠点とする公共交通ネットワークの形成について検討を進めていきます。	無	—
2	本編 11	市営バス、岐阜バスを含む公共交通の人材の不足による利便性の低下が顕在化しており、バス交通のサービス水準の維持が困難な状況への対応策が述べられておりません。	高齢化などに伴うバス運転手の減少により、路線バスにおける運転手不足が深刻な課題となっておりますが、地域住民の交通を維持するため、本編11ページのとおり、2市2町（瑞穂市、本巣市、大野町、北方町）において、岐阜バス大野穂積線への支援を継続していきます。	無	—
3	本編 26	さらに、高齢化が著しく、交通空白が拡大する本市において、ラストワンマイル交通への計画および実勢施策が皆無です。  再考する必要があります。	本市においても高齢化や自動車運転免許証の返納が進むなか、交通空白の解消が課題となっており、ラストワンマイル・モビリティの需要が高まっております。現在運行している市営バスは定時定路線型の巡回路線であり、利用実態（運行本数、最寄りのバス停までの距離、到着時間の長さ等）から、利便性に課題があるため、本編26ページのとおり、地域の实情に応じた新たな運行形態（公共ライドシェアやAIオンデマンド交通）の導入を検討し、交通空白の解消に向けて取り組んでいきます。	無	—

4	本編 17・18	<p>モレラ岐阜行きの岐阜バスの評価が低すぎます。この地域を産業や居住拠点と位置付けているのであれば、岐阜駅へのアクセスを一段上の視点でもっと増便すべきです。現在の1時間1本というのはあまりにも少なすぎます。この地域の樽見鉄道はあまり意味をなしません。考え方の転換をお願いします。</p>	<p>路線バスの JR 岐阜駅への増便は、バス利用者や運転手不足の課題により困難な状況ですが、本編 18 ページのとおり、JR 岐阜駅から市内への最終便の繰り下げや、本編 17 ページのとおり、大野穂積線の増便を検討し、岐阜バスの利便性を向上させることにより、モレラ岐阜から岐阜市方面への公共交通の充実を図っていきます。</p>	無	—
---	----------	--	--	---	---